

夕方研修
17:40 開始

職員間の「伝える力」「聴く力」向上研修

職員間の伝達ミスがなくなり、事故の原因も激減！

多職種が連携することが必須の介護業界において、職員間での『正確な情報の伝達』は、円滑な業務の遂行のみならず、利用者や家族への一貫性のある質の高いサービス提供においても必要不可欠です。『正確な情報の伝達』に向けて、文書による伝達を試みる事業所もありますが、多忙を極める現場においては、文書による伝達は効率性が悪く、実用的ではありません。無理に文書による伝達を強いるとコミュニケーション不全を起こす可能性も高くなります。

このようなことから、忙しい現場では、口頭による伝達の方法が中心となりますが、口頭による伝達には、『伝達の相違』や『伝達漏れ』が起きやすい側面もあります。『伝達の相違』や『伝達漏れ』が起きないようにするには、『正しく伝える技術』や『正しく聴く技術』が求められます。

しかし、義務教育、高等教育のみならず社会人になってからも、それらの知識や技術を学ぶ機会は少ない（実はほとんどないのですが、、）のが現状ではないでしょうか。

更に、『正しく伝える』、『正しく聴く』ことが出来ないのは、職員個人の問題として片付けられてしまうケースが多いのかもしれない。

本研修では、『正しく伝える』、『正しく聴く』ための知識と技術を体系的に学び、他職種間及び上下間の伝達ミス無くすことを目的としています。伝達ミスが減少することで、事故や職員間（職種間を含む）のトラブルが減少するばかりでなく、チームの連携の強化にも結び付きます。また、多忙な職員でも参加できるように、夕方 6 時からの開始時刻と致しました。是非この機会にご参加頂き、職員のスキルアップに繋げて頂きたいと思っております。

受講後すぐに実践できる手法が満載です！

『言った』『聞いていない』がなくなる！

伝達ミスが激減！

事故の原因とされる『確認不足』を解消！

部下の成長を促し、組織力を強化！！

【カリキュラム】

- ①報告・連絡・相談の意味と重要性
- ②正しく伝える力を高める
 - ・指示の仕方
 - ・報告の仕方
- ③正しく聴く力を高める
 - ・指示の受け方、報告の受け方
- ④演習

開催日：2019年2月4日 17:40～21:20

会場：大阪市立青少年センター
大阪市東淀川区東中島1-13-13

受講料：6,000円（税込）

講師：神智淳 お茶の水ケアサービス学院学院長、老年学修士
福祉サービス第三者評価者、介護サービス情報公表の調査員の指導・育成に従事。各公益団体との共同研究や外部評価に関する講演や執筆活動を行うと共に、介護施設等のコンサルティングを行う。厚生労働省の老人保健健康推進事業として、「福祉用具専門相談員の質の向上に向けた調査研究事業」の検討委員。

ネット配信の加入者は半額で受講可！

お申込みは TEL または FAX にて
TEL 03-3863-4000
FAX 03-3863-4006

※お申込後（お申込日を1日目とします）、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額のキャンセル料がかかります。また、申込日に拘らず 1/21 以降は、全額の受講料のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。※キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでご注意ください。

フリガナ：氏名：
送付先：（自宅・事業所）〒

電話： FAX： e-mail：

ネット配信の加入の有無
有 ・ 無

事業所名：

職種：